

Cisco Webex Meetings

このプライバシーデータシートでは、Cisco Webex Meetings における個人データ（または個人を識別できる情報）の処理について説明します。

Note: 本文書は「[Cisco Webex Meetings Privacy Data Sheet](#)」の参考和訳です。原文（英語）と差異がある場合には、原文の内容が優先します。

1. Cisco Webex Meetings の機能概要

Cisco Webex Meetings（「本サービス」または「Webex Meetings」）は、シスコが本サービスを取得した企業または個人（「顧客」または「お客様」）に提供するクラウドベースのウェブおよびビデオ会議ソリューションで、権限を持つユーザ（「ユーザ」）が使用できます。本サービスにより、世界各地の従業員と仮想チームは、いつでもどこからでも、モバイルデバイスやビデオシステム上で、同じ部屋で働いているかのようにリアルタイムにコラボレーションできます。ソリューションには、ミーティング、イベント、トレーニング、サポートサービスが含まれます。Cisco Webex Meetings のオプション機能の詳細については、以下の追補を参照してください。本サービスの詳細な概要については、Cisco Web Conferencing の [ホームページ](#) を参照してください。

本サービスでは、ユーザ間のコラボレーションを実現させるため、以下に記述するとおり、本サービスを利用するにあたり、お客様に個人データを要求する場合があります。以下に、本サービスの提供と関連したシスコによる個人データの処理、個人データの場所および移転、ならびにプライバシーの原則および法規制に従った個人データの保護方法について説明します。シスコは、このプライバシーデータシートと一致する個人データを使用して、正当な利益を提供し、ソリューションを提供する契約上の義務を履行します。本プライバシーデータシートは、[シスコのプライバシーステートメント](#) の補足資料であることにご注意ください。

2. 個人データの処理

本サービスを使用すると、ユーザはフェイスツーフェイスのミーティングのようにほとんどパーソナルな形でただちに接続することができます。お客様がユーザであり、お客様の雇用者が本サービスを取得した顧客である場合、雇用者は本サービスが処理したデータの「データコントローラ」の役割を果たします（誰がどのデータを使用しているかの可視化については、Webex Meetings のプライバシーデータマップを参照してください）。お客様の雇用者は、以下の表およびこのプライバシーデータシートに記載されている情報にアクセスでき、かかる情報には、本サービスに関連する情報のアクセス、利用、モニタリング、削除、保存、エクスポートについてのお客様の雇用者のポリシーが適用されます。

同様に、ユーザが、他の会社のユーザがホストするミーティングに参加する場合、ミーティングのホストはミーティングの録画や、ミーティング中に共有されたファイルをコントロールできます。かかる録画やファイルには、情報のアクセス、利用、モニタリング、削除、保存、エクスポートについてのホストの会社のポリシーが適用されます。会議のホストには、会議を録画するためのオプションがあります。これは、他のユーザと共有したり、法的事項で検出したりすることができます。会議のホストは、録画する前にすべての会議出席者に通知する必要があります。Webex は赤色の円を表示し、音声プロンプトを再生して、すべての参加者に会議が記録中であることを示します。シスコは、お客様が他のユーザと共有した情報のプライバシーをコントロールせず、かかるプライバシーについて責任を負

うものではないことにご注意ください。Webex Meetings プラットフォームから情報を削除した後も、他のユーザと共有した範囲内において、情報のコピーが他の場所で閲覧可能な状態になっている場合があります。

このプライバシーデータシートは、Cisco Webex Meetings、Cisco Webex Events、Cisco Webex Training に適用されます。Cisco Webex アプリとともに本サービスを使用する場合は、Cisco Webex アプリのプライバシーデータシート ([Cisco Trust Center](#) [英語] からアクセス可能) で、本サービスに関連して収集および処理されるデータの詳細をご確認ください。

下の表には、本サービスで使用される個人データのカテゴリと、当社がそれらのデータを処理する目的を記載しています。Cisco Webex Meetings に以下の機能は**ありません**。

- 自動化された手段のみをベースとする、データ情報カテゴリの権利に影響を与える法的またはその他の重大な影響をもたらす意思決定。
- お客様の個人データの販売。
- シスコのプラットフォームでの広告配信。
- 広告目的での使用状況やコンテンツのトラッキング。
- 会議のトラフィックやコンテンツの監視または干渉。

個人データのカテゴリ	個人データの種別	処理の目的/正当な利益
ユーザ情報	<ul style="list-style-type: none"> • 名前 • 電子メールアドレス • パスワード • ブラウザ • 電話番号 (任意) • 送付先住所 (任意) • アバター (任意) • お客様のディレクトリに含まれるユーザ情報 (同期されている場合) • 一意のユーザ ID (UUID) 	<p>シスコは、次の目的でユーザ情報を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サービスの提供 • サービスへの登録 • 他のユーザへのお客様のアバターとプロフィールの表示 • 本サービスおよび他のシスコ製品やサービスの改善 • サポートの提供 • 顧客関係管理 (トランザクション通信など) • アカウントへのアクセスの認証および許可 • サービスへの課金 • 他の Webex ユーザへのディレクトリ情報の表示 (アバターは、会議に参加する他の Webex ユーザのデバイスに、2 週間にわたってローカルにキャッシュされる場合があります) • WalkMe 経由で Webex をオンラインで使用する方法に関するステップバイステップのガイダンスの提供 (オプション)

<p>ホストおよび使用状況情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IP アドレス ・ ユーザーエージェント識別子 ・ ハードウェアタイプ ・ オペレーティングシステムの種類およびバージョン ・ クライアントバージョン ・ ネットワークパス上の IP アドレス ・ クライアントの MAC アドレス (該当する場合) ・ サービスのバージョン ・ 実行されたアクション ・ 地理的地域 ・ ミーティングセッション情報 (日時、頻度、平均および実際の継続時間、回数、品質、ネットワークアクティビティ、ネットワーク接続など) ・ ミーティング数 ・ 画面共有および非画面共有セッションの数 ・ 参加者数 ・ 画面解像度 ・ 参加方法 ・ パフォーマンス、トラブルシューティング、および診断情報 ・ ミーティングホストの情報 * <ul style="list-style-type: none"> ・ ホスト名と ID ・ ミーティングサイトの URL ・ ミーティングの開始/終了時刻 ・ ミーティングのタイトル ・ 電子メールアドレス、IP アドレス、ユーザー名、電話番号、ルームデバイス情報などのコール参加者情報 <p>* 課金の目的に使用</p>	<p>当社は、ホストおよび使用状況情報を以下の目的で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスの提供 ・ 本サービスの使用方法の把握 ・ 技術的問題の診断 本サービスの技術的なパフォーマンスを改善するための、集約された形による分析および統計分析の実施 ・ お客様のサポート要求への対応 ・ 本サービスおよび他のシスコ製品やサービスの改善 <p>お客様が Webex アプリを使用している場合、お客様やその仕事に適した方法で、Webex アプリのメッセージやスペースの整理、ソート、優先順位付けに役立てるため、シスコは Webex 会議のメタデータ (会議の参加者、頻度など) を使用することがあります。</p>
<p>ユーザ生成情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の録画 (お客様が有効にした場合) ・ 会議の録画の文字変換 (オプション、お客様が有効にした場合のみ適用可能) ・ アップロードされたファイル (Webex イベントおよびトレーニングのみ) 	<p>当社は、ユーザ生成情報を以下の目的で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスの提供

カレンダー

お客様がカレンダーサービスで Webex プラグインを使用している場合、または Webex ハイブリッド カレンダー サービスを利用している場合、シスコは会議の日付、時刻、タイトル、参加者に関する上記のデータのみ使用します。Webex ハイブリッド カレンダー サービスの詳細については、[こちら](#)を参照してください。

テクニカル サポート アシスタンス

お客様が問題の診断および解決のために Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡すると、Cisco TAC は本サービスから個人データを受信して、処理する場合があります。[Cisco TAC のサービス提供プライバシーデータシート](#) [英語] には、シスコによる個人データの処理について記載されています。

Control Hub

Cisco Webex Control Hub Analytics は、使用状況の傾向および価値のある洞察を提供します。これを戦略の参考にし、複数チームでの導入を促進および最適化できます。Cisco Webex Control Hub Analytics はホストおよび使用状況に関する情報を使用して、高度な分析機能とレポートを提供します。

投票機能

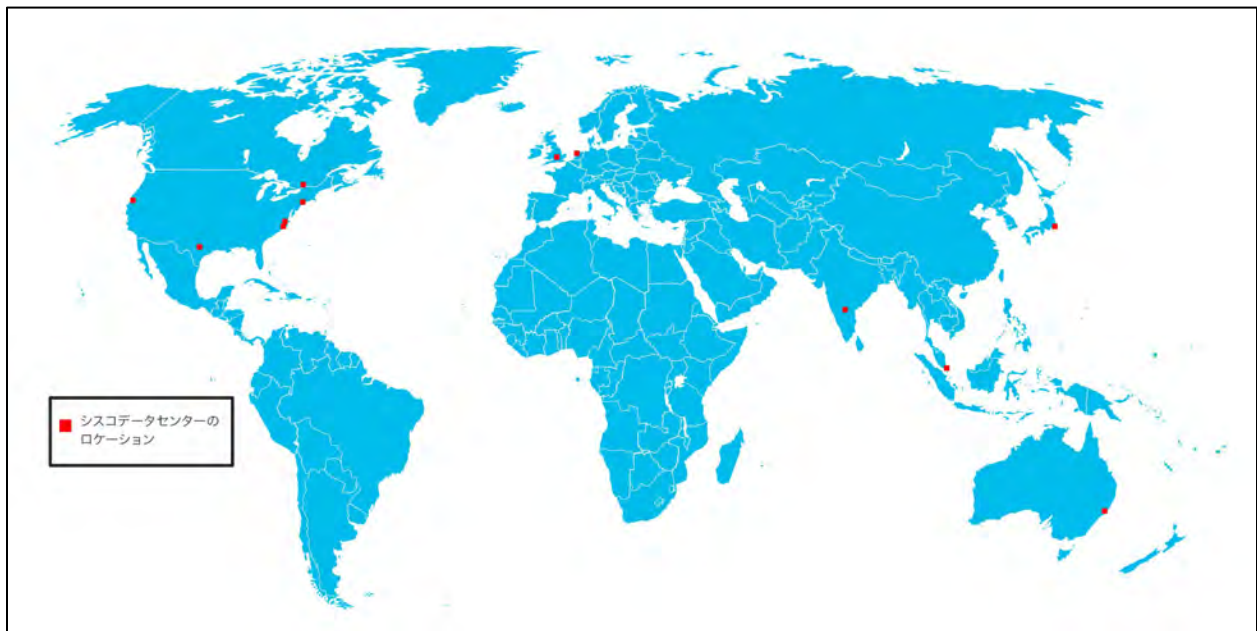
プレゼンターは、投票機能を使用して質問を作成し、共有できます。参加者から収集された投票データは、会議が終了すると削除されます。

拡張セキュリティパック

拡張セキュリティパックを購入する場合は、Cloudlock データのプライバシー情報について、「[Cloudlock Privacy Data Sheet](#)」を参照してください。

3. 国をまたぐデータ転送

本サービスでは、グローバルにサービスを提供するために、自社のデータセンターを活用しています。Cisco Webex アプリを使用して会議に参加する場合は、Cisco Webex アプリのプライバシーデータシートで、データセンターの場所も含め、適用されるプライバシー情報をご確認ください。Webex Meetings データセンターは、現在以下の国に所在しています（データセンターの場所は随時変更される可能性があり、このプライバシーデータシートはそれらの変更を反映して更新されます）。



シスコデータセンターのロケーション	インターネット アクセス ポイント (iPOP) のロケーション
アムステルダム (オランダ)	アムステルダム (オランダ)
バンガロール (インド)	カリフォルニア (米国)
カリフォルニア (米国)	香港 (中国)
ロンドン (英国)	イリノイ (米国)
ニューヨーク (米国)	ニュージャージー (米国)
ノースカロライナ (米国)	シドニー (オーストラリア)
シンガポール (シンガポール)	テキサス (米国)
シドニー (オーストラリア)	
テキサス (米国)	
東京 (日本)	
トロント (カナダ)	
バージニア (米国)	

ユーザが生成した情報は、注文プロセスで指定された顧客の地域にあるデータセンターに格納されます。データは同じリージョン内のデータセンター間で複製され、可用性が確保されます。請求情報は米国で保存されます。ホストおよび使用状況に関する情報を利用する Cisco Webex Analytics プラットフォームデータは米国に保存されます。

無料のユーザアカウントの場合は、このプライバシーデータシートで定義されているデータが、アカウント所有者の地域外の Webex データセンターに保存される場合があります。

トラフィックはインターネット アクセス ポイント (iPOP) のロケーションを使用して地理的に近い地域からシスコのデータセンターロケーションにルーティングされます。これは、Webex のミーティングトラフィックをシスコのインフラストラクチャ経由でルーティングし、パフォーマンスを向上させることを目的としています。iPOP ロケーション経由でルーティングされるデータは暗号化されたままで、そのロケーションには保存されません。

データフローの視覚的な表示については、Webex Meeting の [プライバシーデータマップ](#) を参照してください。

シスコは、複数の司法管轄区域にまたがる合法的なデータの使用を可能にするための複数の転送メカニズムに投資しています。主要なものは以下のとおりです。

- [EU 拘束的企業準則](#) [英語]
- [EU 標準契約条項](#) [英語]
- [APEC クロスボーダー プライバシー ルール](#) [英語]
- [APEC プロセッサ向けプライバシー識別 \(PRP\)](#) [英語]

4. アクセス制御

下の表で説明するように、お客様とシスコは本サービス上の個人データにアクセスできます。

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
ユーザ情報	ユーザ (マイ Webex ページを経由)	ユーザ情報の変更、管理、および削除
	お客様 (サイト管理者ページまたは Webex Control Hub を経由)	お客様の個人データポリシーに従った変更、管理、および削除
	シスコ	シスコのデータアクセスとセキュリティ管理プロセスに従った本サービスのサポート
ホストおよび使用状況情報	ホスト (マイ Webex ページを経由)	ミーティングセッション情報の参照
	お客様はサイト管理ページの Webex Control Hub を通じてこれらの情報を表示できます。また、これらの情報がシスコによって提供される場合もあります。	使用状況、ミーティングセッション、設定情報の表示
	シスコ	Cisco Webex Meetings サポートおよび開発チームによる、本サービスのサポートと改善
ユーザにより生成される情報	ユーザ (マイ Webex ページを経由)	ユーザの希望に応じた変更、管理、および削除
	お客様 (本サービスで提供される API を使用するか、サイト管理者ページまたは Webex Control Hub を介して API を使用)	お客様の個人データポリシーに従った変更、管理、および削除
	シスコ	お客様がシスコと共有していない限り、シスコが本サービスを提供している間、シスコは本データにアクセスせず、シスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従ってのみアクセスします。
	他のお客様やユーザ (ミーティング中に共有した場合)	ミーティング中にお客様が共有することを選択したコンテンツは、どこに配置されていても、ミーティング内でユーザがアクセスできます。本サービスから情報を削除した後も、他のユーザと共有した範囲内において、コンテンツのコピーが他の場所で閲覧可能な状態になっている場合があります。

5. データポータビリティ

本サービスでは、お客様およびユーザがすべてのユーザ生成情報をエクスポートすることができます。お客様の管理者は、本サービスで提供される API を使用して (録画物のみ)、またはサイト管理者ページを経由してユーザ生成情

報をエクスポートすることができます。各ユーザはマイ Webex ページを経由してユーザ生成情報をエクスポートすることができます。アカウントのタイプに応じて、独自の ARF フォーマットおよび標準的な mp4 フォーマットでミーティングを録画することができます。シスコは、ARF ファイルを mp4 フォーマットに変換するための ARF プレーヤーを無料で提供しています。

お客様は、API を使用して、またはサイト管理者設定を経由して、Webex Meetings プラットフォーム上にある、自社のユーザについて収集した個人データをエクスポートすることができます。

6. データの削除および保持

雇用者の企業保持ポリシーに従い、有効なサブスクリプションを持つユーザは、サブスクリプション期間中はいつでも、[マイ Webex (My Webex)] ページを介してユーザ生成の情報を自分のアカウントから削除できます。エンタープライズ顧客は、API を使用して録画の全社的な保持期間を設定できます。シスコは、無料のアカウントユーザに最大 6 ヶ月の無料ストレージを提供します。

下の表には、保持期間とシスコが個人データを保持する事業上の理由を記載しています。自身の雇用者の Webex Meetings サイト上に保持されている個人データの削除を求めるユーザは、雇用者のサイト管理者に削除を要求する必要があります。

個人データのカテゴリ	保持期間	保持の理由と条件
ユーザ情報	有効なサブスクリプション <ul style="list-style-type: none"> ユーザ情報は、お客様が有効なサブスクリプション（有料または無料）を維持している限り維持されます。 終了したサービス： <ul style="list-style-type: none"> サービスが終了すると削除されます。 名前と UUID は、終了から 7 年間維持されます。 	名前と UUID は、シスコのビジネス記録の一部として 7 年間保持され、シスコの財務および監査要件に準拠するために管理されます。課金情報も、この保持期間の対象になります。
ホストおよび使用状況情報	3 年	ホストと使用状況は、シスコのサービス提供記録の一部として保存されます。分析およびパフォーマンスの統計的測定のために使用されるホストと使用状況の情報は保持されますが、仮名化されます。 * すべての課金情報は、シスコのビジネス記録の一部として 7 年間保持され、シスコの財務および監査要件に準拠するために維持されています。指定された保持期間が満了すると、データが削除または匿名化されます。
ユーザにより生成される情報	有効なサブスクリプション <ul style="list-style-type: none"> お客様またはユーザの裁量 終了したサービス： 60 日以内に削除	お客様またはユーザが本データを削除した場合、ユーザ生成情報は Webex Meetings プラットフォーム上に保持されません。 ユーザが生成した情報は、サービスの終了後 60 日間は保持され、お客様によるダウンロードが可能です。

7. 個人データのセキュリティ

本サービスでは、承認されていないアクセス、使用、または開示からお客様の個人データを保護するため、技術的および組織的なセキュリティ対策を採用しています。当社の暗号化アーキテクチャに関する追加情報は、下の表および次項以降のとおりです。

個人データのカテゴリ	暗号化のタイプ
ユーザ情報	移送中および保管中に暗号化します。
パスワード (シングルサインオンが設定されていない場合は保存)	移送中および保管中に暗号化とハッシュ化を適用します。
ホストおよび使用状況情報	移送中は暗号化しますが、保管中は暗号化しません。
ユーザにより生成される情報	2018年5月より前の録画は、保管中に暗号化するオプションを使用して、転送中に暗号化されていました。2018年5月以降に作成された録画は、デフォルトで転送中および保管中に暗号化されます。2019年10月以降に Webex Meetings FedRAMP 認定済みサービスで作成した録画は、転送中および保管中に暗号化されます。

保管中のデータの保護

本サービスは、上記のとおり、保管中のユーザ情報、パスワード、およびユーザ生成情報を暗号化します。保管中に暗号化されていないデータは、安全性の高いデータセンターの保護メカニズムと運用手順によって保護されています。Webex Meetings データセンターの特色は、業界トップクラスのパフォーマンス、統合、柔軟性、拡張性、および可用性を備えた通信インフラストラクチャを有していることです。

実行時の暗号化

Webex Meetings プラットフォーム上でのすべての通信は、暗号化されたチャネルを介して発生します。Cisco Webex は TLS 1.2 のプロトコルと強力な暗号スイートを使用します。

暗号化されたメディアは、UDP、TCP、または TLS で転送できます。User Datagram Protocol (UDP) は、メディアの優先トランスポートプロトコルです。メディアパケットは、AES 128 または AES 256 ベースの暗号を使用して暗号化されます。SRTP によるメディア暗号化をサポートする Webex Video デバイスおよびサードパーティ製ビデオデバイスは、AES-CM-128-HMAC-SHA1 を使用します。キー交換は、TLS でセキュリティ保護されたチャネルで行われます。

セッションが確立されると、すべてのメディアストリーム (音声、VOIP、ビデオ、画面共有、およびドキュメントの共有) は暗号化されます。本サービスは、他のユーザに送信する前に、メディアストリームを再度暗号化します。お客様が参加者に対し、サードパーティ製ビデオエンドポイントを使用してミーティングに参加することを許可する場合、参加者はミーティングデータを暗号化なしでインターネットに送信する可能性があることに注意してください。ユーザから Cisco Webex Meetings サーバに送信されるメディアストリームは、シスコのファイアウォールを通過した後に復号されます。これにより、ビデオエンドポイント向けのネットワークベースの録画および SIP ベースの電話サポートを、シスコは提供することができます。

エンドツーエンド暗号化 (オプション)

標準の会議の場合、Webex メディアサーバは PSTN、トランスコーディング、録画のためにメディアを復号する必要があります。ただし、より高いレベルのセキュリティを必要とする会社に対しては、本サービスはエンドツーエンド暗号化も提供します。

これを実現するために、各参加者の Cisco Webex クライアントは 2048 ビットの RSA 公開鍵と秘密鍵のペアを生成し、公開鍵をホストのクライアントに送信します。ホストのクライアントは、参加者の公開鍵を使用して会議キーを

暗号化し、暗号化された会議暗号化キーを参加者のクライアントに返します。クライアントは、RSA 秘密鍵を使用して会議キーを復号できます。

Cisco Webex クライアントによって生成されたすべての会議データ（音声、ビデオ、チャットなど）は、共有会議暗号化キーを使用して暗号化されます。Webex エンドツーエンドの暗号化会議データを使用すると、Cisco Webex サービスでは復号できません。このエンドツーエンドの暗号化オプションは、Cisco Webex Meetings および Cisco Webex Support で使用できます。エンドツーエンドの暗号化を有効にすると、次の機能がサポートされなくなるのでご注意ください。

- ホストより先に参加
- ビデオデバイス対応の会議
- Cisco Webex Meetings Web アプリ
- Linux クライアント
- ネットワークベースの録画（NBR）
- Webex Assistant
- セッションデータのトランスクリプト、議事録の保存
- PSTN コールイン/コールバック

8. サードパーティのサービスプロバイダー（副処理者）

本サービスの提供と改善を支援するために、サービスプロバイダー、請負業者、または認定サードパーティとデータを共有する場合があります。当社が、お客様の情報を貸与または販売することはありません。すべての情報共有はシスコのプライバシーポリシーに従って行われます。当社は、お客様がシスコに期待できるものと同レベルのデータ保護および情報セキュリティを提供できるサードパーティのサービスプロバイダーと契約します。次に、Webex Meetings のサブプロセッサのリストを示します。

サブプロセッサ	個人データ	サービスタイプ	場所
Akamai	IP アドレス、ブラウザ、地理的地域	Akamai は、静的コンテンツのコンテンツ配信ネットワーク（CDN）サービスプロバイダーとして使用されています。	グローバル
Amazon Web Services (AWS)	制限付きのホストおよび使用状況に関する情報	<p>AWS クラウド インフラストラクチャは、Webex シグナリングサービスをホスティングするために使用されます。このサービスは、会議参加者の UUID、会議の開始時刻と終了時刻を処理します。データは、会議から 15 日以内に削除されます（ロケーションは、お客様の Webex データセンターの割り当てにマッピングされます）。</p> <p>AWS クラウド インフラストラクチャは、VoIP、ビデオ、高フレームレート共有データなどのリアルタイムの会議データを処理できる Webex メディアノードをホストするために使用されます。会議の終了後、この情報は AWS では保持されません。</p>	米国 ドイツ オランダ 英国 ブラジル オーストラリア 日本 シンガポール

サブプロセッサ	個人データ	サービスタイプ	場所
WalkMe* * お客様はこの機能をいつでもオフにできます。機能は現在、非企業向け Webex サイトで有効になっています。	一意のユーザ ID (UUID) とユーザ領域	Webex Meeting オンラインサイトを使用する方法のステップバイステップツアーとガイダンスをユーザに提供します。	グローバル

顧客がシスコパートナーを通じて本サービスを取得した場合、このデータシートに記載されている情報の一部、またはすべてをパートナーと共有することがあります。顧客は、シスコパートナーとのこの情報共有を無効にすることができます。サードパーティのアカウントを使用して Webex アカウントにサインインする場合、シスコは認証目的に必要な情報のみをかかるとしてサードパーティと共有することがあります。

9. 情報セキュリティインシデント管理

違反およびインシデントの通知プロセス

シスコのセキュリティおよび信頼部門は、データインシデント対応プロセスを調整し、データ中心のインシデントへの全社的な対応を管理しています。インシデント指揮官が、シスコプロダクトセキュリティインシデントレスポンスチーム (PSIRT)、シスコセキュリティインシデントレスポンスチーム (CSIRT)、およびアドバンスドセキュリティイニチアチブグループ (ASIG) を含む多様なチームを活用して、シスコの対応を指示および調整します。

PSIRT は、シスコ製品およびネットワークに関連するセキュリティ脆弱性の報告受付、調査、および公表を管理します。PSIRT は、お客様、独立したセキュリティ研究者、コンサルタント、業界団体、およびその他のベンダーと協力して、シスコ製品およびネットワークのセキュリティに関する潜在的な問題を特定しています。シスコセキュリティセンターでは、セキュリティインシデントの報告プロセスを詳しく説明しています。

シスコ通知サービスに登録することで、重要度が「緊急」および「重要」のセキュリティ脆弱性に関するシスコセキュリティアドバイザリを含めた、重要なシスコ製品および技術に関する情報を購読し、受け取ることができます。このサービスでは、通知のタイミングおよび通知の配信方法（電子メールメッセージまたは RSS フィード）をお客様が選択できます。情報へのアクセスレベルは、購読者とシスコとの取引関係によって決定されます。製品またはセキュリティ通知に関する質問や懸念がある場合、お客様のシスコのセールス担当者にお問い合わせください。

10. 認証およびプライバシー保護法の遵守

セキュリティおよび信頼部門およびシスコ法務部は、リスクおよびコンプライアンスに関する管理ならびにコンサルティングサービスを提供し、セキュリティおよび規制の遵守をシスコ製品やサービスの設計に組み込むための支援をしています。本サービスはプライバシーを念頭に置いて構築されており、EU の一般データ保護規制、カリフォルニア州消費者プライバシー法、カナダの個人情報保護および電子文書法、個人の医療情報保護法を含め、グローバルなプライバシー要件に合致した方法で使用できるように設計されています。

シスコは、次のプライバシー認定を活用して、複数の管轄区域における合法的なデータの利用に関連するグローバルなプライバシーフレームワークと転送メカニズムに合致していることを明示しています。

- [EU 拘束的企業準則 \(BCR\)](#)
- [EU 標準契約条項 \[英語\]](#)
- [APEC クロスボーダー プライバシー ルール \[英語\]](#)

- [APEC プロセッサ向けプライバシー識別 \(PRP\)](#)

厳しい社内標準に従うことに加えて、シスコはまた、情報セキュリティに対するシスコの取り組みを示すために、サードパーティによる検証も継続的に行っています。本サービスは、次の認証を受けています。

- ISO 27001、27017、27018、27701
- SOC 2 Type II アテステーション、SOC 3、+ C5
- CSA STAR 2
- FedRAMP

11. データ情報カテゴリの権限の行使方法

お客様には、本サービスによって処理された個人データに対して、アクセス、是正、処理の中断、または削除を要求する権利があります。

シスコは、要求に対応する前に、ID（通常はシスコアカウントに関連付けられた電子メールアドレス）の確認を依頼します。お客様の要求に応じることができない場合、シスコはその原因を提示します。お客様がユーザであり、お客様の雇用主が顧客/コントローラである場合は、応答を得るために、お客様をお客様の雇用者にリダイレクトする場合があります。ご注意ください。要求は、次の方法で作成できます。

- 1) [プライバシー要求フォーム](#)を使用して要求を送信する
- 2) 次の宛先に郵送する：

個人情報保護管理責任者 (CPO) Cisco Systems, Inc. 170 W. Tasman Drive San Jose, CA 95134 UNITED STATES		
Americas Privacy Officer Cisco Systems, Inc. 170 W. Tasman Drive San Jose, CA 95134 UNITED STATES	APJC プライバシー責任者 Cisco Systems, Inc. Bldg 80, Lvl 25, Mapletree Biz City, 80 Pasir Panjang Road, Singapore, 117372 SINGAPORE	EMEAR プライバシー責任者 Cisco Systems, Inc. Haarlerbergweg 13-19, 1101 CH Amsterdam-Zuidoost NETHERLANDS

シスコは、お客様の問い合わせまたは要求にタイムリーかつ十分に対応できるよう努めます。シスコが処理または転送した個人データに関して未解決のプライバシーに関する懸念がある場合は、[ここをクリックしてシスコの米国を拠点とするサードパーティの紛争解決プロバイダー](#)に問い合わせることができます。または、管轄区域内のデータ保護監督機関に問い合わせることもできます。EU では、シスコはオランダを主たる拠点としています。そのため、EU におけるシスコの関係当局は、Dutch [Autoriteit Persoonsgegevens](#)（オランダデータ保護機関）となります。

12. 一般情報と GDPR に関するよくある質問

本サービスの技術的および運用上のセキュリティ機能に関する詳細については、[Webex Meeting](#) セキュリティ ホワイトペーパー [英語] および [Cisco Webex](#) トラステッドプラットフォーム サイトを参照してください。

シスコのセキュリティ コンプライアンス プログラムおよびシスコの GDPR の準備に関連する一般情報ならびに FAQ (よくある質問) については、[Cisco Trust Center](#) をご確認ください。

追補 1 : Cisco Webex の People Insights

このプライバシーデータシートでは、Cisco Webex Meetings および Cisco Webex の People Insights における個人データ (または個人を識別できる情報) の処理について説明します。

1. People Insights 機能の概要

People Insights 機能 (以下「People Insights」または「本機能」) は、ユーザがコンテキストを把握し、コラボレーションの相手についてよく理解できるようにするため、ミーティング参加者についての包括的で一般公開されているビジネス情報および職務情報を Cisco Webex ユーザに提示する機能です。People Insights では、個人の名前と職業に関する検索エンジンの結果と同様に、公開されている情報のみが表示されます。People Insights では、社内のディレクトリ情報も同じ会社のユーザに表示されます。この内部ディレクトリ情報は、社外のユーザには表示されません。People Insights データベースは、ログインしたりペイウォールを越えないと見られないデータは参照しません。つまり、Facebook などのサイトのコンテンツがプロフィールに表示されることはありません。

People Insights は、データ保護とプライバシーを念頭に置いて設計されていて、GDPR を含むグローバルなプライバシー要件に対応しています。この機能により、ユーザは既存のパブリックプレゼンスとデジタルフットプリントを簡単に 1 つの画面で確認できます。後述するように、People Insights にはデータ主体の権利を尊重する機能もあります。ユーザは People Insights プロファイルを完全に所有し、プロフィールを変更または非表示にして情報を非公開にできます。

組織全体で People Insights が有効になっている場合、ユーザは他のミーティング参加者のビューに自分のプロフィールを表示しないように選択することで、この機能への参加を拒否できます。これは、次の 2 つの方法で行うことができます。

1. ミーティングに参加し、[プロフィールの非表示 (Hide Profile)] リンクを選択します。
2. people.webex.com にサインインし、[プロフィールの非表示 (Hide Profile)] をクリックします。

サイトで People Insights が有効になっているシスコのお客様が主催する会議またはチームスペースに参加する場合、上記の説明に従ってプロフィールを非表示にしない限り、すべての参加者の People Insight プロファイルが表示されます。

2. 個人データの処理

People Insights は、公開情報や合法的に入手した情報、出版済みの執筆作品、ニュース記事、検索エンジンの結果、API から得られたもの、およびプロフィール所有者が提供したコンテンツから得られた情報を使用して、ミーティング参加者についてのビジネスおよび職務プロフィールを作成します。

下の表に、People Insights で使用される個人データと、そのデータが処理される理由の一覧を示します。

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
公開されているビジネスや職務についての人名録データ	<ul style="list-style-type: none"> プロフィール写真 関連情報 ツイート 執筆作品 経歴 職歴 学歴 特定のユーザの Web リンク 	<ul style="list-style-type: none"> People Insights のプロフィールの基礎情報となります。本機能内での検索を可能にする目的にも使用されます。
アカウントおよび利用状況の情報	<ul style="list-style-type: none"> ユーザレベルのアカウントの詳細（電子メール、名前、Web の利用履歴、プラットフォームの使用状況を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> 本機能のサポートと改善に使用されます。 製品の分析（プロフィールの編集頻度、ミーティングでプロフィールのロードが成功した回数など）。
ディレクトリデータ	<ul style="list-style-type: none"> サイト管理者によってディレクトリオプションが有効化されている場合は、（管理者によって選択された）社内ディレクトリから、次のような職務関連情報が収集される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 肩書き 電話番号 場所 組織 部門 写真 職務 組織体系 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ組織に属しているミーティング参加者に企業固有のコンテキストを提供し、ユーザの People Insights プロファイルを拡張します。このデータは、ユーザの組織内の参加者にのみ表示されます。
ユーザにより生成される情報	<ul style="list-style-type: none"> ユーザが People Insights プロファイルに追加する情報。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ自身の People Insights プロファイルを拡張します（Insights の他のユーザに対しても表示されます）。

3. 国をまたぐデータ転送

People Insights のデータは、Amazon Web Services（「AWS」）によって提供されるサードパーティサーバに保存されます。AWS サーバは米国にあります。

シスコは、Cisco Webex Meetings プライバシーデータシートに詳細に記載されているとおり、複数の司法管轄区域にまたがる合法的なデータの使用を可能にするための複数の転送メカニズムに投資しています。

4. アクセス制御

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
公開されているビジネスや職務についての人名録データ	シスコ People Insights が有効になっているお客様の Webex サイトのユーザ	本機能の提供
アカウントおよび利用状況の情報	シスコ	登録サポート ユーザと正しいプロフィールとの関連付け サービス向上のための分析
	お客様	機能の有効化/無効化
お客様のディレクトリデータ	お客様（管理者） お客様の組織内の People Insights ユーザ	ディレクトリデータは、People Insights プロファイルへの統合を可能にするために、お客様の管理者によって提供および維持されます。
	シスコ	ディレクトリデータは、プロフィール開発をサポートするためにインポートされ、お客様のプロフィールデータと統合されます。
ユーザにより生成される情報	ユーザ	ユーザは、自分自身のユーザ生成情報にアクセスして、コンテンツを編集または削除できます。

5. データポータビリティ

ユーザは privacy@cisco.com に連絡し、自分の生成した情報も含めて、自分の People Insights プロファイルのコピーを受け取ることができます。

6. データの削除および保持

個人データの種類	保持期間	保持基準
公開されているビジネスデータや職務データ	公開されている Web サイトから取得：無期限 サードパーティ API で取得：契約上の要件に基づく	公開されているビジネスデータや職務データは、パブリックソース（公開情報）から取得されます。これらのデータは、デフォルトで無期限に保持されます。要求に応じて、データの公開とソースデータへのリンクを制限し、表示と公開を限定できます。 公開データは Cisco Webex の外部から取得されるデータであるため、永続的な変更または削除は、元のソースに対して請求する必要があります。 ユーザが要求すれば、データをアーカイブして表示されないようにすることができます。これにより、消去後に新しい検索で同じデータが検出されても再表示されることを防ぎ、データを永続的に非表示にできます。
アカウントおよび利用状況の情報	有効なサブスクリプション お客様またはユーザの裁量 非アクティブ化されたアカウント：30日以内に削除される	ユーザは TAC サービスリクエストを開くことで、自分のアカウント情報の削除を要求できます。シスコは 30 日以内にこのような要求に対応します。

個人データの種類	保持期間	保持基準
ディレクトリデータ	有効なサブスクリプション お客様またはユーザの裁量 非アクティブ化されたアカウント： 30日以内に削除される	管理者は、People Insights を有効にしたまま Active Directory 機能を無効にできます。このように非アクティブ化した場合、ディレクトリデータは完全削除されます。ディレクトリデータ以外のデータは残されますが、ユーザが非アクティブ化される前に、プロファイルデータがディレクトリデータだけだった場合は、名前と電子メールアドレスも削除されます。
ユーザにより生成される情報	アクティブ サブスクリプション：お客様またはユーザの裁量 非アクティブ化されたアカウント： 30 日以内に削除	ユーザは、ユーザ生成情報をプロファイルからいつでも削除できます。

7. 個人データのセキュリティ

個人データのカテゴリ	暗号化のタイプ
公開されているビジネスデータや職務データ	転送時に暗号化、AES 256 で保存、キーは AWS KMS で管理
ホストおよび使用状況情報	転送時に暗号化、AES 256 で保存、キーは AWS KMS で管理
ディレクトリデータ	転送時に暗号化、AES 256 で保存、キーは AWS KMS で管理
ユーザにより生成される情報	転送時に暗号化、AES 256 で保存、キーは AWS KMS で管理

8. サードパーティのサービスプロバイダー（副処理者）

シスコには、お客様がシスコに期待できるレベルと同一レベルのデータ保護および情報セキュリティを提供することを契約で確約できるサービスプロバイダーのパートナーがいます。People Insights の副処理者の現行リストは以下のとおりです。

サブプロセッサ	個人データ	サービスタイプ	データセンターの場所
Amazon Web サービス	<ul style="list-style-type: none"> 公開されているビジネスデータや職務データ ホストおよび使用状況情報 ディレクトリデータ ユーザにより生成される情報 	クラウドストレージ	米国
Amplitude	<ul style="list-style-type: none"> ホストおよび使用状況情報 	ユーザ分析	米国
Diffbot (2021 年 4 月末)	<ul style="list-style-type: none"> 名前、電子メール 	公開されているビジネスデータや職務データの補足	米国

追補 2 : Cisco Webex Meetings の顔認識 (オプション)

この Webex Meetings プライバシーデータシート追補では、Cisco Webex Meetings の顔認識機能における個人データ（または個人を識別できる情報）の処理について説明します。顔認識機能は、特定の[シスコエンドポイントデバイス](#)で Webex Meetings を使用している場合にのみ使用できます。

1. 顔認識機能の概要

シスコは、Webex Meeting のユーザが登録済みの Webex ミーティング参加者を識別および認識（つまり、それぞれの参加者が Webex ミーティングのビデオでどの場所にいるのかを把握）できるようにするため、顔認識機能（「顔認識」または「本機能」）を導入しました。これにより、ユーザは他のミーティング参加者との対話ができます。この機能は、参加者の顔を抽象化された顔ベクトルに変換して認識します。顔ベクトルは、ユーザの顔の特徴を表す数字のリストで、ミーティングに参加している人物を特定するために使用されます。このレベルの抽象化により、システムは照明や位置が変化しても、同じ顔を認識できるようになります。

顔認識機能はデフォルトで無効になっており、有効にするにはお客様とユーザの両方が合意する必要があります。最初にお客様の管理者は、Webex Control Hub を使用して顔認識を有効にできます。ただし、<https://settings.webex.com> でユーザが使用を選択するまで、この機能はユーザのアカウントでは使用できません。この機能は、プロフィール画像から得られた顔のベクトルに基づいているため、この機能を有効にするにはユーザの画像を撮影する必要があります。

2. 個人データの処理

ユーザが顔認識機能の使用を選択すると、このサービスはユーザのデバイスのカメラを使用してプロフィール画像を撮影します。この画像は Webex クラウドに送信され、フィーチャアルゴリズムによって画像から顔ベクトルが生成され、以下に示す方法で照合に使用されます。画像と顔ベクトルの両方が暗号化され、安全に保存されます。顔ベクトルを生成するためのアルゴリズムがシスコで更新された場合、画像を使用して新しい顔ベクトルが生成されます。また、お客様またはユーザがこの機能のサポートについてシスコにお問い合わせをした場合、トラブルシューティングのために画像が使用される可能性があります。ミーティング中に第 2 の顔ベクトルが生成され、Webex クラウド内で保存されている顔ベクトルと照合されます。この第 2 の顔ベクトルは保存されません。

下の表に、この機能で使用される個人データと、そのデータが処理される理由の一覧を示します。

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
ユーザ情報	<ul style="list-style-type: none"> 氏名 (姓、名) 電子メール ユーザ ID 	<ul style="list-style-type: none"> 認識されたユーザの名前を表示するため ユーザを機能に登録し、選択可能にするため

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
バイオメトリック	<ul style="list-style-type: none"> ユーザの顔画像 顔ベクトルのマッピング 	<ul style="list-style-type: none"> 顔ベクトルのマッピングを作成し、顔認識機能を提供するため フィチャアルゴリズムが変更または更新された場合に新しい顔ベクトルを生成するため
ホストおよび使用状況情報	<ul style="list-style-type: none"> 次のような製品の正確性に関する情報 <ul style="list-style-type: none"> 顔ベクトル一致の成功/失敗 ユーザフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> サポートと製品分析を行うため
場所	<ul style="list-style-type: none"> 会議室の近接データ 	<ul style="list-style-type: none"> 近接データは、顔認識を補完し、顔ベクトルが正しい場所の正しいユーザと一致していることを保証するために使用されます
カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> 会議室のカレンダー情報 	<ul style="list-style-type: none"> カレンダー情報は、顔認識を補完し、顔ベクトルが正しい場所の正しいユーザと一致していることを保証するために使用されます

3. アクセス制御

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
ユーザ情報	シスコ	<ul style="list-style-type: none"> 認識されたユーザの名前を表示するため ユーザを機能に登録し、選択可能にするため
	お客様	<ul style="list-style-type: none"> ユーザの顔認識登録ステータスを表示するため
	https://settings.webex.com/ 経由のユーザ	<ul style="list-style-type: none"> 顔認識登録の詳細の表示と変更のため
バイオメトリック	シスコ	<ul style="list-style-type: none"> 顔認識機能を提供するため アルゴリズム改良のため お客様またはユーザからサポートを要求された場合に問題のトラブルシューティングを行うため
ホストおよび使用状況情報	シスコ	<ul style="list-style-type: none"> サポートと製品分析を行うため
場所	シスコ	<ul style="list-style-type: none"> 近接データは、顔認識を補完し、顔ベクトルが正しい場所の正しいユーザと一致していることを保証するために使用されます
カレンダー	シスコ	<ul style="list-style-type: none"> カレンダー情報は、顔認識を補完し、顔ベクトルが正しい場所の正しいユーザと一致していることを保証するために使用されます

4. データポータビリティ

Webex Meetings では、Webex Meetings データプライバシーシートのセクション 5 で説明されているように、顧客とユーザがデータをエクスポートできますが、顔認識データの自動エクスポートはサポートされません。

5. データの削除および保持

個人データの種類	保持期間	保持の理由と条件
ユーザ情報	<p>すべてのアクティブな Webex Meetings ユーザについて、ユーザ ID が保持されます。ユーザがお客様のアカウントから削除されると、ユーザ ID も顔認識サービスから削除されます。</p> <p>他のすべてのユーザ情報は、Webex Meetings によってすでに保存されているため、顔認識サービスによって保存または保持されることはありません。</p>	<p>ユーザ ID は、本機能への登録を追跡するために使用されます。</p> <p>名前は、顔認識機能で一致したときに表示されます。</p>
バイOMETリック	<p>画像：ユーザはイメージの保持を管理できます。この画像は、機能が有効になっている限り保持され、ユーザの画像はプロフィールと関連付けられて保存されます。ユーザはいつでも画像を削除できます。</p> <p>お客様がサービスから脱退すると、すべてのユーザの画像は削除されます。</p> <p>顔ベクトルの保存期間は顔の画像と同じですが、別々に保存されます。</p> <p>サービスから脱退すると、顔ベクトルも削除されます。</p>	<p>画像は、顔認識機能を提供する、アルゴリズムの更新時に顔ベクトルを更新する、およびお客様またはユーザによって要求された場合に問題のトラブルシューティングを行うために使用されます。</p> <p>顔ベクトルは、顔認識機能を提供するために使用されます。</p>
ホストおよび使用状況情報	2 週間	サポートと製品分析を行うため
場所	2 日間	近接データは、顔認識を補完し、画像が正しい場所の正しいユーザに割り当てられていることを保証するために使用されます。
カレンダー	Webex Meetings ですでに保持されているものとは別に、顔認識機能でこの情報を保存または保持することはありません。	

6. 個人データのセキュリティ

下の表は、顔認識機能専用に保存されるデータの暗号化アーキテクチャの要約です。

個人データのカテゴリ	暗号化のタイプ
ユーザ情報	転送時に暗号化、AES 256 で保存
画像	転送時に暗号化、AES 256 で保存
バイオメトリック	転送時に暗号化、AES 256 で保存
ホストおよび使用状況情報	転送時に暗号化、AES 256 で保存
場所	転送時に暗号化、AES 256 で保存

追補 3 : Webex Assistant for Meetings (オプション)

この Webex Meetings プライバシーデータシート追補では、Cisco Webex Meetings の Webex Assistant for Meetings (「Webex Assistant」または「Assistant」) 機能における個人データ (または個人を識別できる情報) の処理について説明します。

1. Webex Assistant 機能の概要

Webex Assistant for Meetings は、インテリジェントな双方向仮想会議アシスタントで、会議を検索可能で実用的な、より生産性の高いものにします。Webex Assistant をオンにすると、会議のホストと参加者は、ワンクリックで、または音声コマンドを使用して会議の要約をキャプチャできます。Webex Assistant が会議に参加する場合でも、「OK Webex」というウェイクワードによってのみアクティブ化されます。ウェイクワードが検出されると、音声テキスト変換による文字起こしと処理のため、音声コマンドがクラウドにストリーミングされます。すべての参加者は、多数の音声コマンドのいずれかを使用して、会議の要約を作成できます。会議の要約には、会議の重要なポイント、メモ、サマリー、議題、アクション項目、または意思決定が含まれます。Webex Assistant はキャプションを表示することもできます。これにより、誰も発言された単語を見逃すことはありません。さらに、会議のホストが会議を録画して、会議後のトランスクリプトを取得することもできます。

Webex 管理者は、組織、Webex サイト全体、またはライセンス割り当てを通じて特定のユーザに対して Webex Assistant for Meetings をプロビジョニングできます。顧客の管理者は、いつでも Webex Assistant を有効または無効にすることができます。管理者は、会議の開始時刻に Assistant のデフォルト値をオンまたはオフに設定することもできます。Assistant が管理者によってデフォルトでオンに設定されている場合、Assistant は会議の開始時にオンになりますが、無効にすることができます。Assistant 設定がオフに設定されている場合、それを使用するには、会議のホストが会議内で Assistant を明示的にオンにする必要があります。

シスコは、ユーザの透明性を確保するためにいくつかの制御機能を配備しています。Webex Assistant が有効になっている場合は、Webex Assistant アイコンが、ホストと参加者の画面の左下に表示されます。Webex エンドポイントデバイスには、会議が録画されているときに表示される既存のキューと同様の視覚的なキューがあります。さらに、ホストが会議内で Webex Assistant をオンにすると、コールのすべての参加者に対して、遅れて参加した場合でも、音

声アナウンスが行われます。以下で説明するとおり、ホストは、トランスクリプトと会議の要約を他の Webex Meeting ユーザと共有することを選択できます。

2. 個人データの処理

下の表に、この機能で使用される個人データと、そのデータが処理される理由の一覧を示します。

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
ユーザ情報	<ul style="list-style-type: none"> 氏名 (姓、名) 電子メール ユーザ名 一意のユーザ識別子 (UUID) 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant ライセンスを特定の Webex Meetings ユーザ、組織全体またはサイトに対してプロビジョニングする Webex Assistant サービスの提供
音声情報	<ul style="list-style-type: none"> 会議の録画 Webex Assistant への音声コマンド 会議のハイライトに関連する音声 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの提供 リアルタイム翻訳機能を利用すると、データが製品の改善のために使用される場合があります
トランスクリプト情報	<ul style="list-style-type: none"> 会議のトランスクリプト 会議の要約のテキスト 翻訳用のリアルタイム音声テキスト 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの提供 リアルタイム翻訳機能を利用すると、データが製品の改善のために使用される場合があります
ホストおよび使用状況情報	<ul style="list-style-type: none"> Assistant が有効になっている会議の数、[要約 (Highlight)] ビュー/編集/ダウンロードの数/タイプ、トラブルシューティングイベントを含む、Webex Assistant 機能の使用状況 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの提供 本サービスの使用方法の把握 使用状況に関する情報を顧客に提供する 技術的問題の診断 本サービスの技術的パフォーマンスの改善

3. アクセス制御

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
ユーザ情報	シスコ	Webex Assistant サービスに登録します。
	お客様	Webex Assistant ライセンスを特定の Webex Meetings ユーザ、組織全体またはサイトに対してプロビジョニングします
音声情報	シスコ	顧客がシスコと共有していない限り、シスコが本サービスを提供している間、シスコは本データにアクセスせず、シスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従ってのみアクセスします。
	お客様	顧客は、引き続き、顧客の個人データポリシーに従い、会議のプライバシーデータシートに記載されているとおりに、会議の録画にアクセスできます。

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
	ユーザ	会議のホストは、要約の表示、アクセス、削除を行うことができます。ホストは、他の Webex Meetings ユーザに対して、特定の編集権限を共有して付与することができます。
トランスクリプト情報	シスコ	顧客がシスコと共有していない限り、シスコが本サービスを提供している間、シスコは本データにアクセスせず、シスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理に従ってのみアクセスします。
	ユーザ	会議のホストは、トランスクリプト情報の表示、アクセス、共有を行うことができます。ホストは、他の Webex Meetings ユーザに対して、特定の編集権限を共有して付与することができます。
ホストおよび使用状況情報	シスコ	シスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理に従って、本サービスをサポートおよび改善します。
	お客様	使用状況情報を表示および分析します。

4. 国をまたぐデータ転送

シスコは、本サービスを世界中で提供するために、自社のデータセンターだけでなくサードパーティ ホスティングプロバイダーおよびビジネスパートナーを利用しています。Webex Assistant の音声およびトランスクリプト情報は、Webex Meetings 録画用に顧客がプロビジョニングした場所と同じ場所に保存されます。Webex Assistant は、以下のセクション 8 に示すように AWS 内でデータを処理できますが、データは AWS には保存されません。

シスコは、Cisco Webex Meetings プライバシーデータシートに詳細に記載されているとおり、管轄区域全体でデータの合法的な使用を可能にする多数の転送メカニズムに投資しています。

5. データポータビリティ

ユーザには、選択した電子メールアカウントにトランスクリプトまたはハイライトを電子メールで送信するオプションがあります。

6. データの削除および保持

雇用者の企業保持ポリシーのみに従い、有効なサブスクリプションを持つユーザは、以下に説明するとおり、[マイ Webex (My Webex)] ページを介して音声およびトランスクリプト情報を管理したり、かかる情報を自身のアカウントから削除したりすることができます。削除または削除要求に関するご質問がある場合は、privacy@cisco.com に電子メールでご連絡ください。

個人データの種類	保持期間	保持の理由と条件
ユーザ情報	ユーザ情報は、Webex Meetings によってすでに保存されているため、Webex Assistant サービスによって個別に保存または保持されません。	

個人データの種類	保持期間	保持の理由と条件
音声情報	有効なサブスクリプション：顧客またはユーザの裁量で削除された音声情報。 終了したサービス：60日以内に削除される	音声情報は、サービスを提供するために保持され、サービスを提供する必要がなくなった後に削除されます。 音声情報は本サービスの終了後も保持され、お客様はダウンロードが可能です。
トランスクリプト情報	有効なサブスクリプション：要約は顧客またはユーザの裁量で削除される場合があります。 終了したサービス：60日以内に削除される	トランスクリプト情報は、サービスを提供するために保持され、サービスを提供する必要がなくなった後に削除されます。 トランスクリプト情報は本サービスの終了後も保持され、お客様はダウンロードが可能です
ホストおよび使用状況	3年後に削除されます。	分析およびパフォーマンスの統計的測定のために使用される使用状況情報は保持されますが、仮名化されます。

7. 個人データのセキュリティ

次の表は、Webex Assistant 専用に保存されたデータの暗号化アーキテクチャをまとめたものです。

個人データのカテゴリ	暗号化のタイプ
ユーザ情報	Webex Assistant は、Webex Meetings ですでに保持されているものとは別に、この情報を保存または保持しません。
音声情報	転送中および保管中に暗号化されます。
トランスクリプト情報	転送中および保管中に暗号化されます。
ホストおよび使用状況	転送中および保管中に暗号化されます。

8. サードパーティのサービスプロバイダー（副処理者）

シスコには、お客様がシスコに期待できるレベルと同一レベルのデータ保護および情報セキュリティを提供することを契約で確約できるサービスプロバイダーのパートナーがいます。Webex Assistant のサブプロセッサの現在のリストを以下に示します。

サブプロセッサ	個人データ	サービスタイプ	データセンターの場所
Amazon Web サービス	音声情報	クラウド インフラストラクチャ（一時的なストレージのみ）	米国、ドイツ、シンガポール

サブプロセッサ	個人データ	サービスタイプ	データセンターの場所
Google Cloud	<p>音声コマンドのみの音声およびトランスクリプト（「OK、Webex、メモを作成（Ok, Webex, <i>create a note</i>）」など）。</p> <p>他のすべての音声およびトランスクリプト情報を処理および保存するコアの文字起こし技術は、シスコによって所有、管理、実行されている点にご注意ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音声テキスト変換サービス（音声コマンドのみ） テキスト音声変換サービス（音声コマンドの応答のみ） 	米国、ドイツ、シンガポール
Google 翻訳サービス	トランスクリプト情報	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳用のリアルタイム音声テキストを使用して翻訳を提供します。最大 14 日間保持されます。 	グローバル

追補 4 : Webex Assistant for Rooms

この Webex Meetings プライバシーデータシート追補では、Webex Assistant for Rooms における個人データ（または個人を識別できる情報）の処理について説明します。

1. Webex Assistant for Rooms 機能の概要

Webex Assistant for Rooms は、音声コマンドを使用してデバイスを制御する新しい方法を提供します。ユーザは音声コマンドを使用して、会議への参加、会議設定の管理などができます。Webex Assistant はデフォルトでは無効になっており、組織の管理者が Webex Control Hub で有効にできます。

Webex Assistant は、「OK Webex」というウェイクワードでアクティブになります。ウェイクワードが検出されると、音声クラウドにストリーミングされ、音声からテキストへ変換されます。ウェイクワード処理はデバイス上でローカルに実行されるため、ウェイクワードが検出されるまで、音声データはクラウドに保存、処理、またはストリーミングされません。ウェイクワードとコマンドが処理されると、音声エンジンからの結果のテキストがエンドポイントデバイス上の Webex Assistant クライアントに返され、ユーザに表示されます。Webex Assistant for Rooms は、Google Speech サービスとの機能的なやり取りを安全に管理してサービスを有効にしますが、Google がサービスの提供以外の目的でデータを保存したり、処理したりすることはありません。

2. 個人データの処理

次の表に、Webex Assistant for Rooms で使用される個人データと、そのデータが処理される理由を示します。

個人データのカテゴリ	個人データの種類	処理の目的
ユーザ情報	<ul style="list-style-type: none"> 同期された企業ディレクトリ情報（名前、電子メール、役職など） シスコエンドポイント デバイスとペアリングするユーザの場合 <ul style="list-style-type: none"> 一意のユーザ識別子 名 (First Name) 表示名 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの提供 ユーザのコマンドに対する Webex Assistant の精度の向上
音声	<ul style="list-style-type: none"> ユーザの音声コマンド 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの提供
トランスクリプト	<ul style="list-style-type: none"> コマンドのテキスト 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの提供 シスコ言語サービスのトレーニングや改善
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant の使用状況情報（エンドポイントデバイスからのクエリ数、日付など） 使用されたエンドポイントデバイス 	<ul style="list-style-type: none"> Webex Assistant サービスの使用状況の把握 技術的問題の診断 Webex Assistant サービスの技術的パフォーマンスの改善

3. アクセス制御

個人データのカテゴリ	アクセス権者	アクセスする目的
ユーザ情報	シスコ	シスコのデータアクセスとセキュリティ管理プロセスに従った Webex Assistant サービスの有効化、サポートおよび改善。
音声	シスコ	Webex Assistant サービスの提供
トランスクリプト	シスコ	Webex Assistant サービスのサポート、トレーニングおよび改善。製品の使用状況の把握。
利用状況	シスコ	シスコのデータアクセスおよびセキュリティ管理プロセスに従った本サービスのサポートおよび改善。製品の使用状況の把握。
	お客様	Control Hub での使用状況情報の表示および分析。

4. 国をまたぐデータ転送

シスコは、本サービスを世界中で提供するために、自社のデータセンターだけでなくサードパーティ ホスティングプロバイダーおよびビジネスパートナーを利用しています。これらの事業者は、現在以下の国に所在しています（データセンターの場所は随時変更する可能性があります。変更があった場合、本プライバシーデータシートは更新されます）。

データセンターの場所
ドイツ
米国

シスコは、Cisco Webex Meetings プライバシーデータシートに詳細に記載されているとおり、複数の司法管轄区域にまたがる合法的なデータの使用を可能にするための複数の転送メカニズムに投資しています。

5. データポータビリティ

Webex Meetings では、Webex Meetings データプライバシーシートのセクション5で説明されているように、お客様とユーザがデータをエクスポートできますが、Webex Assistant for Rooms データのエクスポートはサポートされません。

6. データの削除および保持

個人データの種類	保持期間	保持の理由と条件
ユーザ情報	<p>お客様がサービスに登録している間は保存されます。</p> <p>お客様が Webex Assistant を無効にすると、1週間以内にユーザ情報が削除されます。</p> <p>デバイスとペアリングした場合、関連データは1年間保持されます。</p>	ユーザ情報は、サービスを提供するために保持され、サービスを提供する必要がなくなった後に削除されます。
音声	保持されません	該当なし
トランスクリプト	2年	サービスを評価および改善し、製品の使用状況を把握するために、トランスクリプトが保持されます。個人データを含まないテキストトランスクリプト（「OK Webex、ミーティングを始めて」など）は、匿名化して、無期限に保存される場合があります。
使用方法	1年以内に削除	使用状況は、サービスを評価し、製品の使用状況を把握するために保持されます。

7. 個人データのセキュリティ

下の表は、顔認識機能専用に保存されるデータの暗号化アーキテクチャの要約です。

個人データのカテゴリ	暗号化のタイプ
ユーザ情報	転送中および保管中に暗号化します
音声	転送中は暗号化され、保管はされません
トランスクリプト	転送中および保管中に暗号化します
使用方法	転送中および保管中に暗号化します

8. サードパーティのサービスプロバイダー（副処理者）

シスコには、お客様がシスコに期待できるレベルと同一レベルのデータ保護および情報セキュリティを提供すること

を契約で確約できるサービスプロバイダーのパートナーがいます。Webex Assistant のサブプロセッサの現在のリストを以下に示します。

サブプロセッサ	個人データ	サービスタイプ	データセンターの場所
Google Cloud	・音声	音声テキスト変換サービス	全世界
Google Cloud	・トランスクリプト ・使用状況	クラウド ストレージ リージョン	米国
Splunk 社	・トランスクリプト ・使用状況	データ分析プラットフォーム	米国